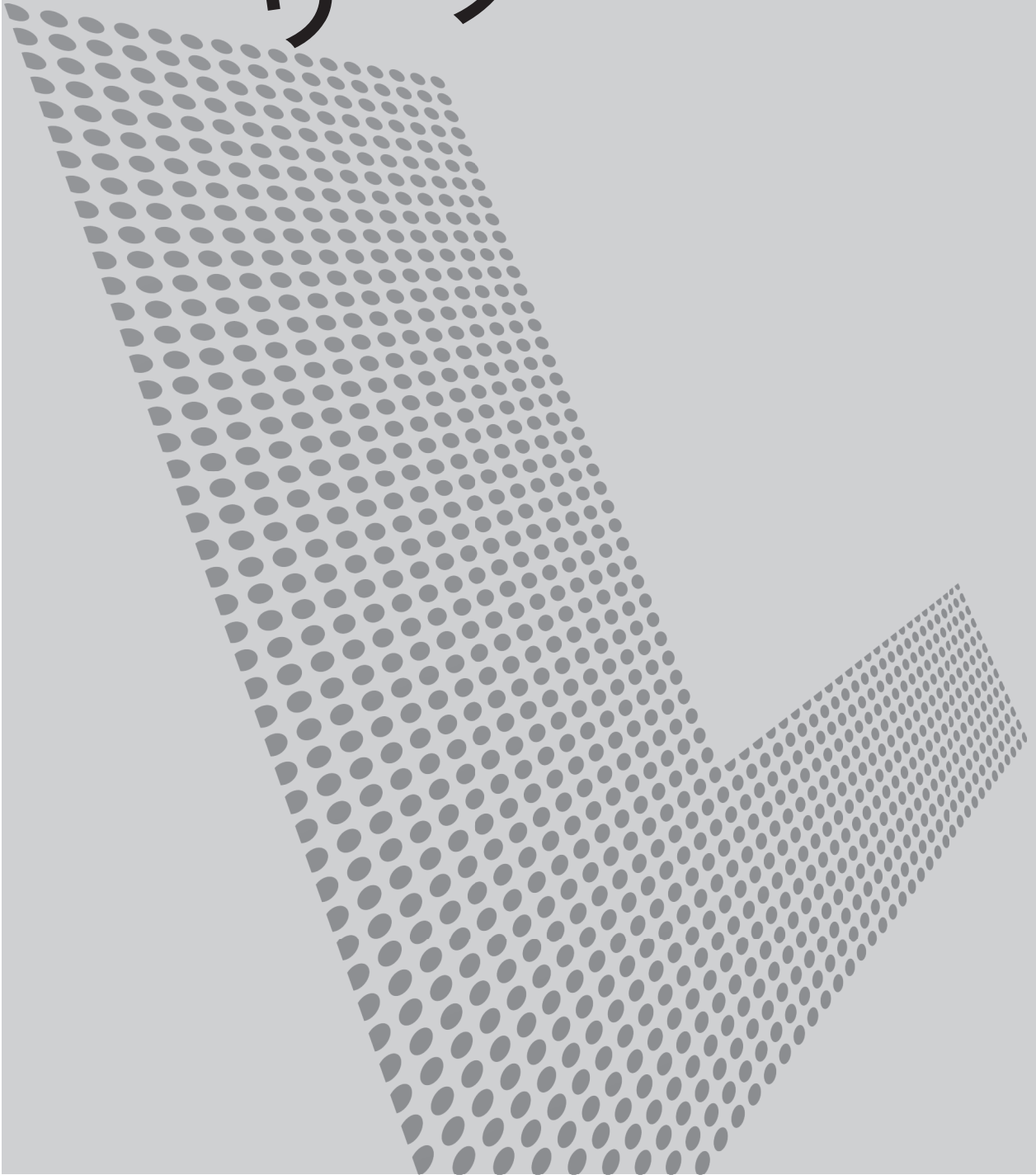


リーダーに向かない人・なりたくない人の

リーダーシブ



～はじめに～

あなたは、これからの人生が、どのようなものであってほしいと思いますか？

具体的な望みは人それぞれだと思いますが、仕事についていえば、高い能力を身につけて、優れた仕事をし、まわりから評価・称賛・感謝されることは、誰もが願うことでしょう。これによって自身の精神的な満足と同時に、経済的な豊かさも手に入れることができるからです。

しかし私たちの経験から、おおもとなる“優れた仕事をする”が、なかなか難しいと感じられるかもしれません。このことについて一つの言葉があります。

「優れた仕事ができないのは、期待されていないためだ」

これは、アップルコンピュータを創業し、世界的企業に育てたスティーブ・ジョブズが残した言葉です。

誰だって最初から高い能力を持っている訳ではありません。その人に、そのことを期待することによって、その人は学び、努力し、そのうちに能力をつけ、ついには優れた仕事をやり遂げるのだ、と解釈できます。言い換えれば、期待されるかどうか、その人の仕事人生を左右するかもしれないということです。

あなたがもし、誰からも何も期待されない人物だったとしたらどうでしょう。恐ろしいことですね。生きているのがいやになるかもしれません。

誰だって最初は期待されます。大きな期待、小さな期待さまざまでしょう。

いまあなたは、誰かに何かを期待されていますか？

もしそうだとしたら、それはあなたにとって大きなチャンスです。「でも面倒だし、難しそうだから」といってそれを無視し「次のチャンスを待つんだ」という人は、自分の人生を自ら切り開いていこうとする勇気のない人です。それに、そんな人にまわりは、代わりの期待など寄せてくれないでしょう。

あなたが自分の人生を、自分が望むようなものにするためには、勇気を出してまわりの期待に応える努力をすることが、何よりも大事なのです。リーダーへの期待にも、ぜひ勇気を奮ってほしいと思います。

Contents

リーダーに向かない人・なりたくない人のリーダーシップ

はじめに	3
------------	---

第Ⅰ部 一度やってみても損はしないリーダーの役割と仕事 ... 5

1 リーダーなんてやりたくない?	6
2 リーダーシップの発揮という呪縛はないか?	10
3 理想のリーダー像に対する誤解はない?	14
4 本当にメンバーは助けてくれるのか?	16
5 立派なリーダーはめったにいない?	18
6 リーダーシップ発揮のスタイルは十人十色?	20
7 チームの中でどのような態度をとるか?	24
8 リーダーにやりがいなどあるのか?	26
9 「責任をとれ」と言うが、本当にとれるものなのか?	30
10 リーダーの損得勘定は?	32
11 会社はリーダーシップの発揮をどう考えているのか?	34
12 自分自身のためのリーダーシップ?	36
◆コラム リーダーシップとは自分を動かすこと	38

第Ⅱ部 一人ひとりの個性を活かしたリーダーシップの発揮 ... 39

1 まずは心構え	40
2 引っ張るリーダーと任せるリーダー	44
3 “サーヴァント・リーダーシップ” という考え方	48
4 リーダーシップ発揮の方法はコミュニケーション	50
5 相手の話を聴ける人ほど良いリーダーになれる	54
6 メンバーに機嫌よく仕事をしてもらう	58
7 助けてほしい仕事を要請する	60
8 わかりやすい話の仕方	62
9 思いどおりにいかないことがむしろ普通だ	64
10 状況を的確にとらえ筋道を立てて考える	66
11 大きな絵（ビジョン）の描き方	70
12 メンバーとの距離の取り方・つき合い方	72
13 最も素晴らしいのは何もしないリーダー	74
14 リーダーシップ発揮で自己実現する	76

リーダーがなくなったら読む10カ条 78 |

■人間関係に悩んだら...	78
■チーム運営に悩んだら...	78
■問題解決に悩んだら...	79
■行き詰まりや挫折を感じたら...	79

第 I 部

一度やってみても損はしない リーダーの役割と仕事



1

リーダーなんてやりたくない？

◆リーダーになりたくない人がいる？

リーダー

能力や人物を評価され、リーダーとしての活躍を期待されても、「リーダーになんかなりたくない」という人が多いといいます。本当でしょうか？

どうやら、次のようにつぶやいている人もいます。

私はリーダーになんか向いていないのに、いつの間にかリーダーにさせられてしまいました。メンバーはどうすればいいかいちいち聞いてくるし、何事も人任せで責任を持ちません。それに私が教えても、よく考えずにやって失敗します。だから結局、自分がしなければいけなくなり、リーダーになる前よりずっと忙しくなりました。それに、自分がリーダーになるのは仲間と競争しているようで気まずいです。そんなことで毎日、悩んでいます。

これは一例ですが、リーダーになってうまくいかずに悩んでいる人は少なくないかもしれません。あなたはどうか？

◆リーダーになりたくないというのは本心？

ある調査機関が若い会社員を対象に、リーダーについての意識調査を行ったところ、約7割が「リーダーになりたくない」と答えたそうです。

リーダーの素質
リーダーになるべき人材

でも、そういう人が皆、本当にリーダーになりたくないとは本心から思っているのでしょうか？ 「君にはリーダーの素質がある」「君こそリーダーになるべき人材だ」などと言われると悪い気はしないものです。しかし、実際に引き受けるとなると、事は違うのかもしれません。

リーダーシップ

会社で働く以上、いずれはリーダーシップを発揮する立場になることが多いのに、いまのうちはラクをしたい、ということなのでしょう？ 気持ちはわかりますが、これではいざリーダーになったとき、とても苦勞してしまいそうです。

それに、最後までリーダーにならなかったら、あなたはあなたよりも

ずっと経験の少ない人を上司に持つことになるかもしれません。だから誰しも本心では、人の指示に従うだけではなく、自らリーダーシップをとって自分の思うように仕事をすすめたいと思っているはずです。

そうはいつでも…と悩む人たちの中には、リーダーやリーダーシップというものを誤解しているケースが少なくないようです。こういう人たちの多くは真面目な人なのでしょう。しっかりこなそうとするあまり、**役割や責任**を過剰に思い込んでしまいます。

役割や責任

◆リーダーってどういうイメージ？

話は変わりますが、日本のアニメはいまや世界的に人気です。さまざまな題材がテーマとなっていますが、スポーツものも人気のジャンルです。野球、サッカー、柔道、ボクシングなどいろいろですね。中にはリーダーやリーダーシップを扱ったものも少なくありません。

1990年代に爆発的ヒットした『SLAM DUNK』（以下、スラムダンク）という作品があります。海外でも人気を博し、いまでもモデルになったといわれる実際の高校を見に来る観光客が絶えないほどです。

スラムダンクの主人公はリーダーではありませんが、彼を取り巻く監督や主将などのリーダーシップが物語を彩っていて、作品の中には、登場するリーダーたちの名文句がたくさんあります。スラムダンクは“リーダーの物語”といってもよさそうです。この作品をご存じない読者のために、そのあらすじを簡単に紹介します。

主人公は県立湘北高校のバスケットボール部に入った元不良少年の桜木花道。花道は安西監督や赤木主将たちの指導で才能を開花させる。彼の活躍で湘北は、県予選リーグで強豪翔陽高校を破り、決勝リーグへ進出して準優勝し、インターハイ出場を果たす。

インターハイ1回戦では豊玉高校に勝利。2回戦は3連覇中の山王工業高校に一時20点差をつけられるものの、驚異の粘りで反撃し、最後は負傷した花道の劇的なシュートで逆転勝利する。

しかし、すべてを出し切った湘北は、次の3回戦でうそのようにぼろ負けした。その後、花道は再びコートを目指しリハビリを続ける。

以上は簡単なあらすじですが、この中でリーダーたちのさまざまな名シーンがあります。その一端を紹介しましょう。